

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	5月	26日	記入者	橋詰輝己
調査者名	小倉	亀田	仲谷	橋詰	

調査対象先	平尾水分神社				
所在地	宇陀市大宇陀平尾字宮ノ谷595番地			電話番号	
代表者 調査対応者	梶本 芳彦(かじもと よしひこ)氏 (氏子総代)				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 3棟	国宝:	1件 棟
				重文:	件
				重文:	件

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他(集落14戸の家で保存しており、維持・改修費用も大変で苦勞しており、当面は現状維持のみ)
	今後の予定	社殿によれば、創立は永徳元年(1381)と伝えられている。本殿の柱はシロアリ・土台は自然風化等の腐食が見られ、耐震は難しい。檜皮葺の屋根の上にトタン板の屋根を設置して本殿を囲っている。当面の耐震計画はない
	要望	神社の入り口の道の傍に立つ鳥居(昭和34年に改修)が痛みが激しく取り替えが必要。

防火対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	本殿に消火器のみ設置。本殿の西側に宇陀川が流れ消防車が駐車できる場所を確保してある。防火水は川水を利用する。
	今後の予定	火災報知器の設置予定である。
	要望	時になし
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	平尾水分神社
-------	--------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	本殿の柱にはシロアリ被害が見られる。ミツバチがカギ穴から入って中で巣をつくっていた。テープで入口をふさいで被害拡大を少なくしている。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし

春日造檜皮葺きの本殿(トタン屋根で3棟を覆う)



三殿が並列に並び微かに彩色が残っている



本殿の柱はすべて腐食が進んでいる



防火用の消火器が付けられている



本殿前にミツバチの巣箱を設置



【調査票記入者(橋詰輝己)らの感想】

(橋詰)本殿の柱はシロアリ等での腐食が進んでいる。檜皮葺の屋根も痛みトタンで雨風から守っている。地震などがあればもろに崩壊する寸前である。地区住民によって何とか保存されている現状。
 (仲谷)後ろの山から雨水が流れ込み、本殿建設地の地盤が流されている。湿気も多い。このため本殿、覆屋とも全体的に腐食が進み、シロアリ被害の程度も大きい。